

第12回広島EMR/ESDハンズオンセミナー

【日時】 2023年10月14日(土) 10:00~17:40 (受付開始9:30)

【会場】 広仁会館 (広島大学医学部 霞キャンパス内)

【募集】 胃ESD Advanced コース 大腸ESD 血流下コース
胃ESD Basicコース 大腸EMR、Pre-Cutting EMRコース

【会費】 1万円 (1Table4名 ただし胃ESD Advancedコースは最大3名で1万5千円となります)

【申込方法】 ご応募は「E-mail」にてお願い致します。詳細は参加申込書をご参照ください。

【応募締切】 2023年9月22日(金)まで 先着順にて承ります。

※当ハンズオンセミナーセッションは、通常コース30分、Advancedコース40分をそれぞれ2回行う事ができます。

【お問合せ】 ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社 阿部泰久

Email. Yasuhisa.Abe@bsci.com / TEL. 080-3460-2133

《プログラム》

1. 開催挨拶 (10:00~) 代表世話人:岡 志郎 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器内科学)
2. ハンズオンセミナーセッション 1 (10:15~12:00) ~EMR/ESD, わたしの偶発症対策~
3. ランチョンセミナーセッション (12:00~12:50) ESDにおける安全治療戦略
司会:岡 志郎 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器内科学)
演者:井口 幹崇 先生 (和歌山県立医科大学附属病院 消化器内科)
玉井 尚人 先生 (東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡部)
4. ハンズオンセミナーセッション 2 (13:00~17:30) ~EMR/ESD, わたしの偶発症対策~
5. 閉会挨拶 (17:30~) 代表世話人:岡 志郎 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器内科学)
6. 情報交換会 (17:40~)

■コースディレクター・総合司会

岡 志郎 先生 (広島大学大学院 医系科学研究科 消化器内科学)

■ゲスト講師

井口 幹崇 先生 (和歌山県立医科大学附属病院 消化器内科)

玉井 尚人 先生 (東京慈恵会医科大学附属病院 内視鏡部)

■講師

永田 信二 先生 (広島市立北部医療センター安佐市民病院 内視鏡内科)

桑井 寿雄 先生 (呉医療センター・中国がんセンター 消化器内科)

佐野村洋次 先生 (県立広島病院 内視鏡内科)

田中 秀典 先生 (広島大学病院 内視鏡診療科)

共催:広島EMR/ESDハンズオンセミナー、ポストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社、
協力:オリンパスマーケティング株式会社、富士製薬工業株式会社(ランチョンセミナー共催)

* ハンズオンセミナーセッション1では、各講師の先生方より講演ならびに戦略補足の為のDemonstrationがあります。

* ランチョンにて昼食を準備しております。

* 会終了後、同一建屋内の懇親会場にて情報交換会の場とともに軽食をご用意しております。

(情報交換会では、ゲスト講師からのランチョンセミナー内容についての質疑もお話し頂けます。)

※当セミナーは、「日本消化器内視鏡学会認定ハンズオンセミナー」として受講者に日本消化器内視鏡学会 専門医制度の業績ポイントが2点付与されます。

当日はご参加頂いた確認の為、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。

尚、ご記帳頂いたご施設名・ご芳名は医薬品および医薬薬学に関する情報提供のために利用させて頂くことがございます。

何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

各コース概要とハンズオンモデルのご紹介

*各コース共通で、内視鏡治療におけるExpertsのファカルティより学術的な視点での治療戦略講演とデモンストレーションの聴講とハンズオントレーニングを行います。
なお血流モデルは臓器の状態で血流量が不十分な場合があります事、ご容赦下さい。

【胃ESD Advancedコース】

血流環境下と線維化環境下での胃ESDを想定したコースです。

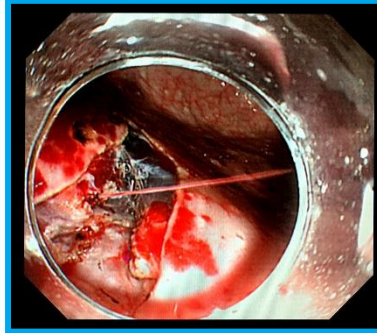
～動脈血流モデル～

2022年に開発された新型モデルとなります。
粘膜下になる動脈を白色変性させて止血する処置や動脈性出血時のアプローチや効果的な止血を学べます。

～線維化モデル～

粘膜と筋層部を特殊な縫合糸で縫縮する事で線維化環境を再現したモデルになります。フラップ作成時の注意点、線維化箇所への剥離ライン取り、ナイフでの各テクニックなど学べるコースとなります。

*このコースは40分～45分/回を2回行う予定です。



【胃ESD Basicコース】

豚胃の粘膜の薄い箇所（胃底部）を前庭部形成して使用するモデル。
2016年より内視鏡学会やJDDWのハンズオンプログラムで使用されているモデルとなっております。
またスコープが安定できる箇所にマーキングをつけているモデルで基礎学習を効率的に行っていたいただけます。
2例目は血流モデル(Advancedモデル)選択もできます。
*このコースは約30分/回を2回行う予定です。



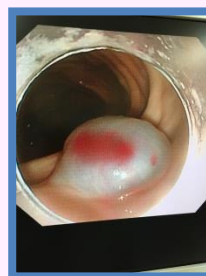
【大腸EMR コース】 Pre-Cutting EMR/Hybrid ESDも選択できます

局注や隆起形成のコツ、10～15mm病変、發病変処置を想定したコースです。Pre-Cutting EMR/Hybrid ESDや穿孔リスク防止のクリッピング練習が可能です。

～大腸モデル～

大腸処置修練モデルとして、2016年にモデルチェンジしております。
牛直腸を使用したモデルです。体位変換Kit使用。

*このコースは約30分/回を2回行う予定です。EMRの場合、10病変切除できる予定です。



【大腸ESD 血流下コース】

血流下、屈曲環境下で大腸ESDを行うコースです。

～大腸 血流モデル～

2017年大腸ESD Newモデルです。新しく大腸治療環境に近づけ、屈曲やヒダ環境下で操作できるモデルとなりました。
大腸ESD基本手技、血流コントロール方法、壁に対峙した場合の手技、穿孔時のクリップ操作など様々な手技体感が可能です。

*大腸EMR/ESDコースでは“体位変換Kit”を使用します。

*このコースは約30分/回を2回行う予定です。

